

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	川島 真人	〒260-0021 千葉県中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉県中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科 (エステティシャン)	平成29年文部科学大臣 認定	-																							
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																										
認定年月日	平成30年2月28日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1740	750	990	0	0	0																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
240	44人	0人	8人の内4人	41人の内27人	49人の内31人																						
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。 A～Dの評定が困難な場合はR(認定)																							
長期休み	■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月26日～1月5日 ■春季: 3月21日～4月10日		卒業・進級条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。		課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等 (令和3年度卒業生) たかの友梨、TBC/メンズTBC、スリムビューティハウス、ソシエニューアート・ラ・パルレその他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業業者数 19人 ■就職希望者数 19人 ■就職者数 18人 ■就職率 94.7% ■卒業者に占める就職者の割合 : 94.7% ■その他 ・進学者数: 0人 ・関係分野 (エステティック業界) への内定率100% (就職希望者) (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AEA上級認定 エステティシャン</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>AEA認定エステティシャン</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用ライフカラー検定</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用パーソナル検定</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>ダイエット検定2級</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定等) ■白中記述欄	資格・検定名	種	受験者数	合格者数	AEA上級認定 エステティシャン	③	19人	19人	AEA認定エステティシャン	③	19人	19人	色彩活用ライフカラー検定	③	15人	14人	色彩活用パーソナル検定	③	4人	4人	ダイエット検定2級	③	19人	19人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
AEA上級認定 エステティシャン	③	19人	19人																								
AEA認定エステティシャン	③	19人	19人																								
色彩活用ライフカラー検定	③	15人	14人																								
色彩活用パーソナル検定	③	4人	4人																								
ダイエット検定2級	③	19人	19人																								
中途退学の現状	■中途退学者 6名 ■中退率 12% 令和3年4月1日時点において、在学者50名 (令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者44名 (令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携 (出席状況・成績通知)																										
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度 (成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度 (一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科のホームページURL	<a href="https://aie-jhm.jp/aie/">https://aie-jhm.jp/aie/</a>																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

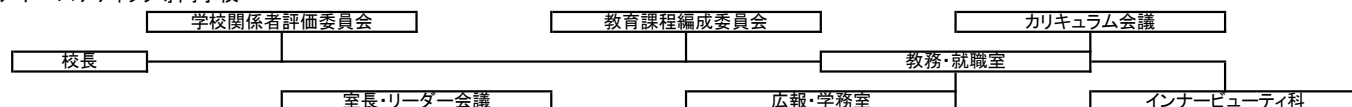
(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】

アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
萩原 直美	NPO法人日本ネイリスト協会理事 株式会社フューチャーネイル 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
中野 貴子	株式会社ティーケーアップ 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
木村 保司	日本アロマコーディネーター協会 顧問	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
柴山 佳之	株式会社日本ビューティコーポレーション 一般社団法人日本エステティック業協会教育委員会 委員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和3年度】第1回 令和3年9月8日 14:30～15:30 第2回 令和4年3月29日 14:30～15:30

【令和4年度】第1回 令和4年9月7日 14:40～予定 第2回 令和5年3月28日 14:40～予定

## (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

### ■化粧品検定対策授業の導入

→2年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。

### ■日本メイクアップ技術検定1級対策授業

→高い技術力を身に付け、悩みや要望に沿った対応力の向上を目指し取り組んでいる。プロフェッショナル意識を養い就職後の幅を広げる。

### ■ビューティビジネス実務検定の導入

→ビジネスコミュニケーションや美容業界の基礎知識を身に付け、サロンワークに必要なスキルを習得させることを目指し導入。

### ■選択授業の導入

→学生自身に授業を選択させる事でより勉強への取り組み意識が向上。検定日まで前向きな考え行動となり、自分自身で勉強スケジュール等を考える学生もいた。

### ■オンライン授業の学生理解を深め遠隔授業の質の向上

→メタバースを導入し、「一緒にいる」という新感覚のバーチャル空間をウェブ上に設営。オンラインでも学生通しの活発な意見交換を促すことを目的。

座学のオンライン授業では質疑を増やし、学生通しのディスカッションやカウンセリング練習などを組み込み参加型授業へ改善。

### ■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。

また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

### ■モチベーション低下学生へのフォロー

→ホームルームの導入。朝の段階で欠席者を把握し、遅刻欠席が増加する初期の段階で面談を実施出来た。

職員と学生の信頼関係を深め、モチベーション低下学生への即日面談実施へ繋げる。

### ■就職難となった学生への支援をどのようにするか

→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。

また、就職室だけでなく全職員が分担をして学生対応する事で、就活で困窮している人へより密な対応を実施が出来た。

更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

9月8日(水) 第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。

3月29日(火) 第2回委員会でシラバス・授業内容の改善についての報告と企業連携科目の審議を実施する。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。

授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。

授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、カラーージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
ネイルケア	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強して参りましょう。	Nail it

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掘んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

###### カラーセラピスト講座

期間: 令和3年8月 対象: アロマセラピスト職員1名  
内容: 色彩知識、色彩心理、カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

###### AEA認定講師勉強会

期間: 令和3年8月 対象: エステティック職員1名  
内容: 検定技術試験時統一事項、実技試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### 化粧品検定

期間: 令和3年11月 対象: エステティック職員2名  
内容: 化粧品および美容の知識向上/美容皮膚科学/基礎知識/法律

###### AEA認定校勉強会

期間: 令和3年12月 対象: エステティック職員2名  
内容: 心理学から読み解く、リアル・リモート世代の育て方 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名  
内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

###### 学生の育て方

期間: 令和3年9月 対象: 職員1名  
内容: 教員力をあげるPSA診断とPSAコーチング/精神理学理論 株式会社ヒューマン・キャピタル・コンサルティング

###### LGBT研修

期間: 令和3年10月 対象: 職員1名  
内容: LGBTとは/セクシャルマイノリティの状況/課題に対する具体的な対応 株式会社 リカレント

###### 教育研修

期間: 令和4年3月 対象: 職員全体  
内容: 魂を揺さぶる本気教育/やる気を引き出す法則/指導上の課題解決 株式会社アビリティトレーニング代表取締役

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

##### エステティックグランプリ見学

期間: 令和4年6月 対象: エステティック職員2名  
内容: エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

##### カラーセラピスト講座

期間: 令和4年8月 対象: エステティック職員1名  
内容: 色彩知識/色彩心理/カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

##### エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和4年8月 対象: エステ職員2名  
内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

##### ダイエットビューティフェア見学

期間: 令和4年9月 対象: エステ職員2名  
内容: 健康なダイエット方法、最新の食事 日本エステティック試験センター

##### 特殊メイク・パフォーマンスメイク講習

期間: 令和4年10月 対象: メイク職員1名  
内容: 作品や役柄、照明などを考え、ステージ映えるベースメイク作り 三善メイクアップ研究所

##### ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和4年11月 対象: エステ、ネイル職員2名  
内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

##### ネイル技術の勉強会

期間: 令和3年11月 対象: ネイル職員1名  
内容: ネイルの高い技術力の見学、最先端のネイル&ビューティグッズの特性 NPO法人日本ネイリスト協会

##### エステティック認定講師勉強会

期間: 令和4年12月 対象: エステ職員3名  
内容: 検定技術試験統一事項、技術試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人日本エステティック業協会

##### コスメコンシェルジュ認定プログラム養成講座

期間: 令和4年2月 対象: メイク職員2名  
内容: 化粧品材料知識、活性酸素とフリーラジカル、教え方セミナー 日本化粧品検定協会

##### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名  
内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

##### Z世代を動かすコミュニケーション研修

期間: 令和4年6月 対象: 職員1名  
内容: 学生募集への活用と在校生のカルチャー理解 株式会社リクルート専門学校営業部

##### リスクマネジメント研修

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名  
内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

##### 新任職員研修

期間: 令和4年8月 対象: 職員2名  
内容: 専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

##### 体系的カリキュラム研修

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名  
内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/開発学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

##### ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年3月 対象: 職員8名  
内容: 働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生満足度についてのご質問

→コロナ禍でのオンライン授業、対面短縮授業が長引いた為に学生へのフォローが行き届かなかった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
三森 歩	株式会社ボディアークホールディングス 取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校 校長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	高校関係

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和4年7月31日



5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 エステティシャン専攻) 2022年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティⅠでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気付きや行動変容の重要性を学びます。また、人と人の関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	2	○		○			○		
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1通・2前	60	4	○		○				○	
3	○			ビジネスマナー	社会の中で働くということとは何か、信頼を得るには何が大切なのか、社会人として身につけておくべきビジネスマナーの基本を実践的に習得します。更に、仕事をスムーズに行うためのコミュニケーションスキルを実践的に習得します。	1通	30	2	○		○				○	
4	○			フレッシュャーズスキル	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。	2通	30	2	○		○				○	
5	○			業界ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、コース選択にも役立てる。	1前	15	1	○		○				○	
6	○			就職ガイド	就職活動の早期化に伴い、1年前期より就職活動や試験内容に触れ意識の向上を図る。授業を通じて、自分を知り分析をし向き合う。	1通・2前	45	3	○		○				○	
7	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	4	○		○				○	
8	○			衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起っても迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1	○		○				○	





29	○		メイク&ヘアアレンジメント	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1 前	30	2		○	○	○	○						
30	○		アウタービューティレッスン	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。2年時は基本のメイクアップ、ヘアアレンジ技術だけでなく様々なシチュエーションに合わせたテクニックをそれぞれ学ぶことで、エステティックの仕事の幅を広げることを目標としています。	2 後	30	2		○	○	○							
31	○		アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1 前	15	1		○	○	○	○						
32	○		アロマコーディネーターライセンス検定対策	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また日常生活で安全に活用できる実践的な方法を学びます。2021年2月実施JAA日本アロマコーディネーター協会「アロマコーディネーター」試験内容に準じた授業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。(精油テキストにある31種類の精油の説明については各授業で全て行い、身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きも学びます。	1 後	45	3		○	○		○	○					
33	○		ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を直し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1 前	15	1		○	○		○						
34	○		ビューティプログラムリフレ	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。 長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1 前	15	1		○	○		○	○					
35	○		ビューティプログラムブライダル	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1 前	15	1		○	○		○						
36	○		ビューティプログラムカラー	美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこからまず自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいのかを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また、さまざまな配色方法を学ぶことでそれぞれの分野で活用出来る知識を身につける。	1 前	15	1		○	○		○						
37		○	資格選択授業メイク検定	JMA（メイク検定）3級合格に向けた授業です。技術だけでなくお客様に対しての気遣いも学びます。	1 後	30	2		○	○		○						
38		○	資格選択授業ネイル検定	JMA（メイク検定）3級合格に向けた授業です。技術だけでなくお客様に対しての気遣いも学びます。	1 後	30	2		○	○		○						

39	○	資格選択授業 パーソナルカラー検定	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して理解を深め、表現力を養っていきます。検定対策として、問題集や小テストを実施し、合格を目指します。	2 後	30	2	○	○	○	○
40	○	資格選択授業 メイクアップ検定	色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。美容業界で求められるカラーコーディネート技術を、カラーワーク実習を通して身につけ、衣食住(空間)へと活かせる力を養います。また、検定受験に向け、適宜問題集、小テスト(解説あり)を実施します。	2 後	30	2	○	○	○	○
合計				40科目	1800	時間	(	120	単位)	

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは資格選択授業を1年後期、2年後期で何れか一つを選択し、合計1740時間/116単位である。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																						
アイ エステティック 専門学校	平成27年3月17日	川島 真人	〒260-0021 千葉県中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																						
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																						
学校法人中村学園	昭和41年8月15日	中村 洋子	〒260-0021 千葉県中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																						
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																				
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科 (アロマ&セラピスト)		平成29年文部科学大臣 認定	-																				
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																								
認定年月日	平成30年2月28日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼間	1740	540	1200	0	0	0																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
240		31人	0人	8人の内1人	41人の内27人	49人の内28人																			
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。 A～Dの評定が困難な場合はR(認定)																				
長期休み	■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月26日～1月5日 ■春季：3月21日～4月10日			卒業・進級 条件	1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2.指定した期日までに学費が納入されていること。																				
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。			課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動  ■サークル活動：有																				
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等 (令和3年度卒業生) ヘアハグ、ボディセラピストエージェンシー、ヴィアラ、TBC/メンズTBC ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。			主な学修成果 (資格・検定 等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リフレクソロジープロライセンス</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>認定エステティシャン</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用パーソナル検定</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用ライフカラー検定</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	リフレクソロジープロライセンス	③	12人	8人	認定エステティシャン	③	12人	12人	色彩活用パーソナル検定	③	4人	1人	色彩活用ライフカラー検定	③	8人	6人	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定等)  ■自由記述欄 特になし
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																						
リフレクソロジープロライセンス	③	12人	8人																						
認定エステティシャン	③	12人	12人																						
色彩活用パーソナル検定	③	4人	1人																						
色彩活用ライフカラー検定	③	8人	6人																						
■卒業生数 12人			■卒業者に占める就職者の割合			100%																			
■就職希望者数 12人			■就職率 100%			100%																			
■就職者数 12人			■その他			0人																			
■就職率 100%			・進学者数：0人			・関係分野 (リラクゼーション業界) への内定率100% (就職希望者)																			
■卒業生に占める就職者の割合			・関係分野 (リラクゼーション業界) への内定率100% (就職希望者)			(令和3年度卒業生に関する 令和4年5月1日 時点の情報)																			
中途退学 の現状	■中途退学者 1名 令和3年4月1日時点において、在学者32名 (令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者31名 (令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難			■中退率 3%																					
■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携 (出席状況・成績通知)																									
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無																								
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://aie-jhm.jp/aie/">https://aie-jhm.jp/aie/</a>																								



1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

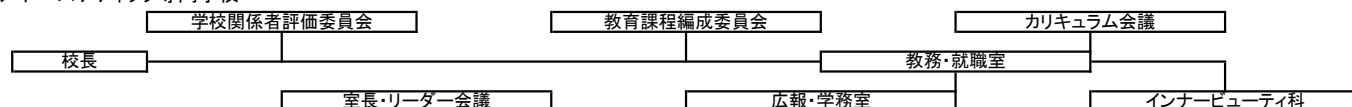
(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】

アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
萩原 直美	NPO法人日本ネイリスト協会理事 株式会社フューチャーネイル 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
中野 貴子	株式会社ティーケーアップ 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
木村 保司	日本アロマコーディネーター協会 顧問	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
柴山 佳之	株式会社日本ビューティコーポレーション 一般社団法人日本エステティック業協会教育委員会 委員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和3年度】第1回 令和3年9月8日 14:30～15:30 第2回 令和4年3月29日 14:30～15:30

【令和4年度】第1回 令和4年9月7日 14:40～予定 第2回 令和5年3月28日 14:40～予定

## (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

### ■化粧品検定対策授業の導入

→2年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。

### ■日本メイクアップ技術検定1級対策授業

→高い技術力を身に付け、悩みや要望に沿った対応力の向上を目指し取り組んでいる。プロフェッショナル意識を養い就職後の幅を広げる。

### ■ビューティビジネス実務検定の導入

→ビジネスコミュニケーションや美容業界の基礎知識を身に付け、サロンワークに必要なスキルを習得させることを目指し導入。

### ■選択授業の導入

→学生自身に授業を選択させる事でより勉強への取り組み意識が向上。検定日まで前向きな考え行動となり、自分自身で勉強スケジュール等を考える学生もいた。

### ■オンライン授業の学生理解を深め遠隔授業の質の向上

→メタバースを導入し、「一緒にいる」という新感覚のバーチャル空間をウェブ上に設営。オンラインでも学生通しの活発な意見交換を促すことを目的。座学のオンライン授業では質疑を増やし、学生通しのディスカッションやカウンセリング練習などを組み込み参加型授業へ改善。

### ■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

### ■モチベーション低下学生へのフォロー

→ホームルームの導入。朝の段階で欠席者を把握し、遅刻欠席が増加する初期の段階で面談を実施出来た。

職員と学生の信頼関係を深め、モチベーション低下学生への即日面談実施へ繋げる。

### ■就職難となった学生への支援をどのようにするか

→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。

また、就職室だけでなく全職員が分担をして学生対応する事で、就活で困窮している人へより密な対応を実施が出来た。

更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

9月8日(水) 第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。

3月29日(火) 第2回委員会でシラバス・授業内容の改善についての報告と企業連携科目の審議を実施する。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。

授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。

授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、カラーージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
ネイルケア	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強して参りましょう。	Nail it

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掘り込んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

###### カラーセラピスト講座

期間: 令和3年8月 対象: アロマセラピスト職員1名  
内容: 色彩知識、色彩心理、カウンセリングテクニック エイテスペース株式会社

###### AEA認定講師勉強会

期間: 令和3年8月 対象: エステティック職員1名  
内容: 検定技術試験時統一事項、実技試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### 化粧品検定

期間: 令和3年11月 対象: エステティック職員2名  
内容: 化粧品および美容の知識向上/美容皮膚科学/基礎知識/法律

###### AEA認定校勉強会

期間: 令和3年12月 対象: エステティック職員2名  
内容: 心理学から読み解く、リアル・リモート世代の育て方 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名  
内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

###### 学生の育て方

期間: 令和3年9月 対象: 職員1名  
内容: 教員力をあげるPSA診断とPSAコーチング/精神心理学理論 株式会社ヒューマン・キャピタル・コンサルティング

###### LGBT研修

期間: 令和3年10月 対象: 職員1名  
内容: LGBTとは/セクシャルマイノリティの状況/課題に対する具体的な対応 株式会社 リカレント

###### 教育研修

期間: 令和4年3月 対象: 職員全体  
内容: 魂を揺さぶる本気教育/やる気を引き出す法則/指導上の課題解決 株式会社アビリティトレーニング代表取締役

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

##### エステティックグランプリ見学

期間: 令和4年6月 対象: エステティック職員2名  
内容: エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

##### カラーセラピスト講座

期間: 令和4年8月 対象: エステティック職員1名  
内容: 色彩知識/色彩心理/カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

##### エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和4年8月 対象: エステ職員2名  
内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

##### ダイエットビューティフェア見学

期間: 令和4年9月 対象: エステ職員2名  
内容: 健康なダイエット方法、最新の食事 日本エステティック試験センター

##### 特殊メイク・パフォーマンスメイク講習

期間: 令和4年10月 対象: メイク職員1名  
内容: 作品や役柄、照明などを考え、ステージ映えするベースメイク作り 三善メイクアップ研究所

##### ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和4年11月 対象: エステ、ネイル職員2名  
内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

##### ネイル技術の勉強会

期間: 令和3年11月 対象: ネイル職員1名  
内容: ネイルの高い技術力の見学、最先端のネイル&ビューティグッズの特性 NPO法人日本ネイリスト協会

##### エステティック認定講師勉強会

期間: 令和4年12月 対象: エステ職員3名  
内容: 検定技術試験統一事項、技術試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人日本エステティック業協会

##### コスメコンシェルジュ認定プログラム養成講座

期間: 令和4年2月 対象: メイク職員2名  
内容: 化粧品材料知識、活性酸素とフリーラジカル、教え方セミナー 日本化粧品検定協会

##### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名  
内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

##### Z世代を動かすコミュニケーション研修

期間: 令和4年6月 対象: 職員1名  
内容: 学生募集への活用と在校生のカルチャー理解 株式会社リクルート専門学校営業部

##### リスクマネジメント研修

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名  
内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

##### 新任職員研修

期間: 令和4年8月 対象: 職員2名  
内容: 専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

##### 体系的カリキュラム研修

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名  
内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/開発学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

##### ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年3月 対象: 職員8名  
内容: 働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を得得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要項事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生満足度についてのご質問

→コロナ禍でのオンライン授業、対面短縮授業が長引いた為に学生へのフォローが行き届かなかった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
三森 歩	株式会社ポディワークホールディングス 取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校 校長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	高校関係

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和4年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>



(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 アロマ&セラピスト専攻) 2021年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティIでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	2	○			○		○		
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1通・2前	60	4	○			○			○	
3	○			ビジネスマナー	社会の中で働くということとは何か、信頼を得るには何が大切なのか、社会人として身につけておくべきビジネスマナーの基本を実践的に習得します。更に、仕事をスムーズに行うためのコミュニケーションスキルを実践的に習得します。	1通	30	2	○			○			○	
4	○			フレッシュャーズスキル	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。	2通	30	2	○			○			○	
5	○			業界ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、コース選択にも役立つ。	1前	15	1	○			○			○	
6	○			就職ガイド	就職活動の早期化に伴い、1年前期より就職活動や試験内容に触れ意識の向上を図る。授業を通じて、自分を知り分析をし向き合う。	1通・2前	45	3	○			○			○	
7	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	4	○			○			○	
8	○			衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起こっても迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1	○			○			○	



19	○		ボディ実技理論&カウンセリング	エステティックの歴史や現状を学びます。技術を学ぶために必要な知識・禁忌事項・マナーを学んだ後、機器や使用化粧品の知識を深めます。お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホームケアアドバイスなど、実際のサロンでお客様に接した時に対応できるスキルを学びます。	1通	30	2	○		○	○									
20	○		エステティックボディ実技	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」です。エステティシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の対応、掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。また、授業を通じて挨拶や敬語ができ、笑顔で積極的にコミュニケーションが取れる人材育成をします。	1通	105	7		○	○	○	○								
21	○		エステティックフェイシャル実技	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」です。エステティシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶の仕方、施術中の対応。サロン同様、掃除などの業務全般も学んでいきます。AIE STEPSの“言われたことが出来る人になる”を心がけて実技授業も学んでいきましょう。	1通	180	12		○	○	○	○								
22	○		エステティック実技	AEA認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。ボディ技術検定の取得を行います。	2前	45	3		○	○	○	○								
23	○		スパトリートメント	アーユルヴェーダ、ロミロミを中心に技術習得していきます。エステティック技術の応用となる技術であり様々な技術の体感や実践を通してお客様に合わせたコースの提案ができるように学習します。また、フェイシャル技術では、世界のスパで使用する化粧品を使い肌別に効果を体験し、知識を深めていきます。	2通	120	8		○	○	○									
24	○		ネイルケア	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強して参りましょう。	1前	45	3		○	○		○	○							
25	○		ボディリラクゼーション	手指を用いて「なでる」「押す」などの手法で首、肩、腰などの凝りや筋肉の硬直をほぐし、血行を良くする技術を学びます。血行を良くすることで心と体の疲労を改善していく手技を習得しお客様に技術披露のできる状態が目標となります。	2通	90	6		○	○		○	○							
26	○		リラクゼーションサロン	2年時は様々な技術習得をしていく中、エステティックの技術は基本となるため継続して学習していきます。エステティックの「サロン運営」で一般のお客様に技術提供を行います。運営を通して技術力の向上と接客力の向上を目指します。運営を通して技術力の向上と接客力の向上を目指すと共に入社後の即戦力となれる様、1日の働きの理解と習得を目指します。	2通	135	9		○	○	○	○								
27	○		メイク&ヘアアレンジメント	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1前	30	2		○	○	○	○								
28	○		アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラブト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1前	15	1		○	○		○	○							

29	○	アロマコーディネーターライセンス検定対策	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また日常生活で安全に活用できる実践的な方法を学びます。2021年2月実施JAA日本アロマコーディネーター協会「アロマコーディネーター」試験内容に準じた授業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。(精油テキストにある31種類の精油の説明については各授業で全て行い、身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きも学びます。	1後	45	3	○	○	○	○	○	○	○	○
30	○	アロマセラピー	1年時はアロマセラピーの基礎理論を中心に学びます。お客様に提案するための知識や香りを安全に活用する方法を中心に学び授業終了時に「アロマコーディネーター」資格取得に向け試験を受験します。2年時は1年生で学んだ基礎と復習の後、香りや心理の関係性やお客様に香りを提案する際のカウンセリングスキル向上を目標に施術での取り入れ方や香りの選定方法を実践して学びます。	2前	60	4	○	○	○	○	○	○	○	○
31	○	リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	2通	120	8	○	○	○	○	○	○	○	○
32	○	ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を直し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○
33	○	ヨガ・ピラティス	1年時はピラティスを中心に学びます。身体と精神のコントロールを体験しながら習得し、精神的疲労感を軽減する技術や知識を学びます。2年時はヨガを中心とした授業を学び、レベルに合わせたポーズの提案や正しい体感づくりについて指導ができるよう学びます。それぞれのポーズにおいてもより正確さと方法を伝授できるまでを目標とします。いずれもヨガ・ピラティスの運動による効果、効能や歴史などについても学び、それらを伝えられることも目標としています。	2通	60	4	○	○	○	○	○	○	○	○
34	○	ビューティーセラピー	店舗にはいろいろな立場のお客様が来店します。特に高齢者のお客様、障害のあるお客様、妊娠しているお客様に対して現状を把握し実践に向けてロールプレイングで学びます。高齢者施設の現場で実践を交えた授業も行い、様々な場面で求められる接客を学びます。	2後	30	2	○	○	○	○	○	○	○	○
35	○	ビューティプログラム リフレ	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1前	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○
36	○	ビューティプログラム ブライダル	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1前	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○
37	○	ビューティプログラム カラー	美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこからまず自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいのかを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また、さまざまな配色方法を学ぶことでそれぞれの分野で活用出来る知識を身につける。	1前	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○
38	○	資格選択授業メイク検定	JMA（メイク検定）3級合格に向けた授業です。技術だけでなくお客様に対しての気遣いも学びます。	1後	30	2	○	○	○	○	○	○	○	○

39	○	資格選択授業 ネイル検定	ネイルケアの基礎を理解する JNECネイリスト技能検定3級実技の流れを理解する	1 後	30	2	○	○	○											
40	○	資格選択授業 パーソナルカラー検定	パーソナルカラー3級を取得目標とする授業です。似合う色の活用法や、診断ポイント、色彩の基本を学習します。メイクの仕事は店舗で働く際に、お客様にそれぞれに合った色選びや色の組み合わせなどのスキルを求められます。そういった場面でも役立つ基本知識を学びます。	2 後	30	2	○	○	○	○										
41	○	資格選択授業 メイクアップ検定	色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。美容業界で求められるカラーコーディネート技術を、カラーワーク実習を通して身につけ、衣食住(空間)へと活かせる力を養います。	2 後	30	2	○	○	○	○										
合計				41科目	1800	時間	( 120 単位 )													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは資格選択授業を1年後期、2年後期で何れか一つを選択し、合計1740時間/116単位である。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
アイ エステティック 専門学校		平成27年3月17日		川島 真人		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																							
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																						
衛生	衛生専門課程		インナービューティ科 (メイクアップアーティスト)			平成29年文部科学大臣 認定	-																						
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																												
認定年月日	平成30年2月28日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	時間																					
2年	昼間	1740	525	1215	0	0	0																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
240	51人	0人	8人の内2人	41人の内31人	49人の内33人																								
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。 A～Dの評定が困難な場合はR(認定)																								
長期休み	■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月26日～1月5日 ■春季：3月21日～4月10日			卒業・進級条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																								
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。			課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動：有																								
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等 (令和3年度卒業生) エキップ、ティー・ケー・エス、エムシーネットワークスジャパンアート、ザ・コスモス、オルビス、アートその他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業生数 16人 ■就職希望者数 14人 ■就職者数 13人 ■就職率 92.8% ■卒業者に占める就職者の割合 : 81.3% ■その他 ・進学者数：2人 ・関係分野 (メイク業界・エステ・ネイル) への内定75% (就職希望者) (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メイクアップ技術検定2級</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>認定エステティシャン</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>ネイリスト技能検定3級</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定等) ■白中記述欄					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	メイクアップ技術検定2級	③	16人	15人	認定エステティシャン	③	8人	8人	パーソナルカラー検定3級	③	16人	16人	ネイリスト技能検定3級	③	16人	16人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
メイクアップ技術検定2級	③	16人	15人																										
認定エステティシャン	③	8人	8人																										
パーソナルカラー検定3級	③	16人	16人																										
ネイリスト技能検定3級	③	16人	16人																										
中途退学の現状	■中途退学者 5名 令和3年4月1日時点において、在学者47名 (令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者42名 (令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携 (出席状況・成績通知)			■中退率 11%																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待生制度 (成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度 (一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																												
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無																												
当該学科のホームページURL	<a href="https://aie-jhm.jp/aie/">https://aie-jhm.jp/aie/</a>																												

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

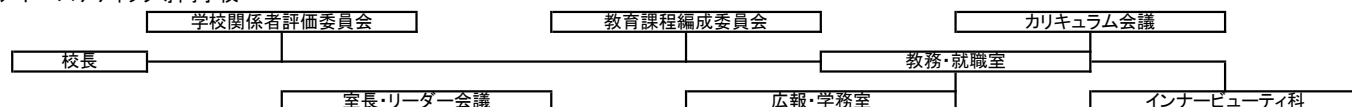
(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】

アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
萩原 直美	NPO法人日本ネイリスト協会理事 株式会社フューチャーネイル 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
中野 貴子	株式会社ティーケーアップ 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
木村 保司	日本アロマコーディネーター協会 顧問	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
柴山 佳之	株式会社日本ビューティコーポレーション 一般社団法人日本エステティック業協会教育委員会 委員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和3年度】第1回 令和3年9月8日 14:30～15:30 第2回 令和4年3月29日 14:30～15:30

【令和4年度】第1回 令和4年9月7日 14:40～予定 第2回 令和5年3月28日 14:40～予定



## (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

### ■化粧品検定対策授業の導入

→2年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。

### ■日本メイクアップ技術検定1級対策授業

→高い技術力を身に付け、悩みや要望に沿った対応力の向上を目指し取り組んでいる。プロフェッショナル意識を養い就職後の幅を広げる。

### ■ビューティビジネス実務検定の導入

→ビジネスコミュニケーションや美容業界の基礎知識を身に付け、サロンワークに必要なスキルを習得させることを目指し導入。

### ■選択授業の導入

→学生自身に授業を選択させる事でより勉強への取り組み意識が向上。検定日まで前向きな考え行動となり、自分自身で勉強スケジュール等を考える学生もいた。

### ■オンライン授業の学生理解を深め遠隔授業の質の向上

→メタバースを導入し、「一緒にいる」という新感覚のバーチャル空間をウェブ上に設営。オンラインでも学生通しの活発な意見交換を促すことを目的。

座学のオンライン授業では質疑を増やし、学生通しのディスカッションやカウンセリング練習などを組み込み参加型授業へ改善。

### ■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。

また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

### ■モチベーション低下学生へのフォロー

→ホームルームの導入。朝の段階で欠席者を把握し、遅刻欠席が増加する初期の段階で面談を実施出来た。

職員と学生の信頼関係を深め、モチベーション低下学生への即日面談実施へ繋げる。

### ■就職難となった学生への支援をどのようにするか

→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。

また、就職室だけでなく全職員が分担をして学生対応する事で、就活で困窮している人へより密な対応を実施が出来た。

更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

9月8日(水) 第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。

3月29日(火) 第2回委員会でシラバス・授業内容の改善についての報告と企業連携科目の審議を実施する。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。

授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。

授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、カラーージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
ネイルケア	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強して参りましょう。	Nail it

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掘んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

###### カラーセラピスト講座

期間: 令和3年8月 対象: アロマセラピスト職員1名  
内容: 色彩知識、色彩心理、カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

###### AEA認定講師勉強会

期間: 令和3年8月 対象: エステティック職員1名  
内容: 検定技術試験時統一事項、実技試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### 化粧品検定

期間: 令和3年11月 対象: エステティック職員2名  
内容: 化粧品および美容の知識向上/美容皮膚科学/基礎知識/法律

###### AEA認定校勉強会

期間: 令和3年12月 対象: エステティック職員2名  
内容: 心理学から読み解く、リアル・リモート世代の育て方 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名  
内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

###### 学生の育て方

期間: 令和3年9月 対象: 職員1名  
内容: 教員力をあげるPSA診断とPSAコーチング/精神心理学理論 株式会社ヒューマン・キャピタル・コンサルティング

###### LGBT研修

期間: 令和3年10月 対象: 職員1名  
内容: LGBTとは/セクシャルマイノリティの状況/課題に対する具体的な対応 株式会社 リカレント

###### 教育研修

期間: 令和4年3月 対象: 職員全体  
内容: 魂を揺さぶる本気教育/やる気を引き出す法則/指導上の課題解決 株式会社アビリティトレーニング代表取締役

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

##### エステティックグランプリ見学

期間: 令和4年6月 対象: エステティック職員2名  
内容: エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

##### カラーセラピスト講座

期間: 令和4年8月 対象: エステティック職員1名  
内容: 色彩知識/色彩心理/カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

##### エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和4年8月 対象: エステ職員2名  
内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

##### ダイエットビューティフェア見学

期間: 令和4年9月 対象: エステ職員2名  
内容: 健康なダイエット方法、最新の食事 日本エステティック試験センター

##### 特殊メイク・パフォーマンスメイク講習

期間: 令和4年10月 対象: メイク職員1名  
内容: 作品や役柄、照明などを考え、ステージ映えするベースメイク作り 三善メイクアップ研究所

##### ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和4年11月 対象: エステ、ネイル職員2名  
内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

##### ネイル技術の勉強会

期間: 令和3年11月 対象: ネイル職員1名  
内容: ネイルの高い技術力の見学、最先端のネイル&ビューティグッズの特性 NPO法人日本ネイリスト協会

##### エステティック認定講師勉強会

期間: 令和4年12月 対象: エステ職員3名  
内容: 検定技術試験統一事項、技術試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人日本エステティック業協会

##### コスメコンシェルジュ認定プログラム養成講座

期間: 令和4年2月 対象: メイク職員2名  
内容: 化粧品材料知識、活性酸素とフリーラジカル、教え方セミナー 日本化粧品検定協会

##### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名  
内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

##### Z世代を動かすコミュニケーション研修

期間: 令和4年6月 対象: 職員1名  
内容: 学生募集への活用と在校生のカルチャー理解 株式会社リクルート専門学校営業部

##### リスクマネジメント研修

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名  
内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

##### 新任職員研修

期間: 令和4年8月 対象: 職員2名  
内容: 専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

##### 体系的カリキュラム研修

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名  
内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/開発学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

##### ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年3月 対象: 職員8名  
内容: 働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を得得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要項事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生満足度についてのご質問

→コロナ禍でのオンライン授業、対面短縮授業が長引いた為に学生へのフォローが行き届かなかった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
三森 歩	株式会社ボディアークホールディングス 取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校 校長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	高校関係

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和4年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>



## 授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 メイクアップアーティスト専攻) 2022年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティIでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	2	○			○		○		
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1通・2前	60	4	○			○			○	
3	○			ビジネスマナー	社会の中で働くということとは何か、信頼を得るには何が大切なのか、社会人として身につけておくべきビジネスマナーの基本を実践的に習得します。更に、仕事をスムーズに行うためのコミュニケーションスキルを実践的に習得します。	1通	30	2	○			○			○	
4	○			フレッシュャーズスキル	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。	2通	30	2	○			○			○	
5	○			業界ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、コース選択にも役立つ。	1前	15	1	○			○			○	
6	○			就職ガイド	就職活動の早期化に伴い、1年前期より就職活動や試験内容に触れ意識の向上を図る。授業を通じて、自分を知り分析をし向き合う。	1通・2前	45	3	○			○			○	
7	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	4	○			○			○	
8	○			衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起こっても迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1	○			○			○	



19	○	エステティック ボディ実技	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」です。エステティシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の対応、掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。また、授業を通じて挨拶や敬語ができ、笑顔で積極的にコミュニケーションが取れる人材育成をします。	1 前	45	3		○	○	○	○								
20	○	エステティック フェイシャル実技	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」です。エステティシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶の仕方、施術中の対応。サロン同様、掃除などの業務全般も学んでいきます。AIE STEPSの“言われたことが出来る人になる”を心がけて実技授業も学んでいきましょう。	1 前	60	4		○	○	○	○								
21	○	エステティック 応用実技	応用実技の目的にそって即戦力として対応できる知識を学びます。悩み別の技術で使用する機器や化粧品の使用法に対する知識、接客面ではクレームの基本的な対応やサロンを運営するために必要な経営についての知識、お客様を集客するための知識を主に学びます。	1 後・ 2 前	60	4		○	○	○	○								
22	○	ネイルケア	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかりと勉強して参りましょう。	1 通	105	7		○	○			○	○						
23	○	メイク& ヘアアレンジメント	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1 前	30	2		○	○	○	○								
24	○	メイク	メイクの基礎をベースに、より実践的な悩み対策やトレンドの応用テクニックを学びます。	1 後・ 2 通	255	17		○	○			○							
25	○	ヘアアレンジ	ヘアセットの基礎と髪の毛の構造について学びます。ヘアセットはアイロンの巻き方、ホットカーラーの巻き方、ヘアアレンジなどを実習で習得します。	1 後・ 2 通	45	3		○	○			○							
26	○	メイク検定対策	1年時はJMA（メイク検定）3、2級合格に向けて学習します。技術はもちろん、相手に対しての気遣いやコミュニケーションがとれるようになることを目標としています。	1 後・ 2 前	150	10		○	○			○							
27	○	スタジオ撮影 プロジェクト メイク	作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。	2 通	105	7		○	○	○	○								
28	○	スタジオ撮影 プロジェクト ファッション	前期は作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。テーマに合わせコンセプトや作品のイメージを考えることを実践的に学びます。後期は卒業制作を作成するうえで作品制作の技術をより向上させるためのイメージづくりをより具体的になおかつプレゼンテーションできるまでになることを目標としています。	2 通	30	2		○	○	○	○								



39	○		ビューティプログラム カラー	美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこからまず自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいのかを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また、さまざまな配色方法を学ぶことでそれぞれの分野で活用出来る知識を身につける。	1 前	15	1		○	○						○	○
40		○	資格選択授業 アロマ・ネイル検定	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また日常生活で安全に活用できる実践的な方法を学びます。2021年月2月実施J A A日本アロマコーディネーター協会「アロマコーディネーター」試験内容に準じた授業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。(精油テキストにある31種類の精油の説明については各授業で全て行い、身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きも学びます。	1 後・2 前	90	6		○	○						○	○
41		○	資格選択授業 エステ検定	センター技術力確認試験フェイシャル実技試験合格を目標にした技術・知識・アドバイス・分析力の習得。 検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイスカ、接客力の5項目の基礎が求められます。	1 後・2 前	90	6		○	○						○	
合計						41科目	1830	時間 ( 122 単位 )									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1. 【卒業】 卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは資格選択授業を何れか一つを選択し、合計1740時間/116単位である。 【進級】 1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																											
アイ エステティック 専門学校		平成27年3月17日		川島 真人		〒260-0021 千葉県中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																											
学校法人中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉県中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																											
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																											
衛生	衛生専門課程	インナービューティ科 (ブライダル)			平成29年文部科学大臣 認定	-																											
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																																
認定年月日	平成30年2月28日																																
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																										
2 年	昼間	1740	540	1200	0	0	0																										
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																												
240	22人	0人	8人の内1人	41人の内31人	49人の内32人																												
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。 A～Dの評定が困難な場合はR(認定)																												
長期休み	■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月26日～1月5日 ■春 季：3月21日～4月10日			卒業・進級 条件	1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2.指定した期日までに学費が納入されていること。																												
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくはは保護者との面談を行う。			課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動  ■サークル活動：有																												
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等 (令和3年度卒業生) As-meエステール、いつ和、アドリアーナ、Pilgrim、ベリテ ジョイフルまるやま、ワンスタイル、その他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業生数 8 人 ■就職希望者数 8 人 ■就職者数 8 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数：0人 ・関係分野 (ブライダル業界) への内定率100% (就職希望者) (令和 3 年度卒業者に関する 令和4年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブライダルコーディネーター 3級</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>AEA認定エステティシャン</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ライフケアカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ネイリスト技能検定3級</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定等) ■白中記述欄					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ブライダルコーディネーター 3級	③	8人	8人	AEA認定エステティシャン	③	8人	8人	ライフケアカラー検定3級	③	8人	8人	ネイリスト技能検定3級	③	8人	8人	パーソナルカラー検定3級	③	8人	8人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																														
ブライダルコーディネーター 3級	③	8人	8人																														
AEA認定エステティシャン	③	8人	8人																														
ライフケアカラー検定3級	③	8人	8人																														
ネイリスト技能検定3級	③	8人	8人																														
パーソナルカラー検定3級	③	8人	8人																														
中途退学 の現状	■中途退学者 4 名 令和3年4月1日時点において、在学者23名 (令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者19名 (令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携 (出席状況・成績通知)			■中退率 17 %																													
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待生制度 (成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度 (一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無																																
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://aie-jhm.jp/aie/">https://aie-jhm.jp/aie/</a>																																

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

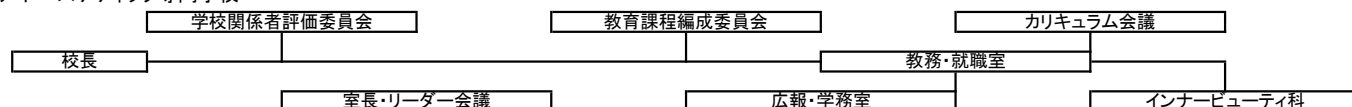
(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】

アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
萩原 直美	NPO法人日本ネイリスト協会理事 株式会社フューチャーネイル 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
中野 貴子	株式会社ティーケーアップ 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
木村 保司	日本アロマコーディネーター協会 顧問	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
柴山 佳之	株式会社日本ビューティコーポレーション 一般社団法人日本エステティック業協会教育委員会 委員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和3年度】第1回 令和3年9月8日 14:30～15:30 第2回 令和4年3月29日 14:30～15:30

【令和4年度】第1回 令和4年9月7日 14:40～予定 第2回 令和5年3月28日 14:40～予定

## (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

### ■化粧品検定対策授業の導入

→2年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。

### ■日本メイクアップ技術検定1級対策授業

→高い技術力を身に付け、悩みや要望に沿った対応力の向上を目指し取り組んでいる。プロフェッショナル意識を養い就職後の幅を広げる。

### ■ビューティビジネス実務検定の導入

→ビジネスコミュニケーションや美容業界の基礎知識を身に付け、サロンワークに必要なスキルを習得させることを目指し導入。

### ■選択授業の導入

→学生自身に授業を選択させる事でより勉強への取り組み意識が向上。検定日まで前向きな考え行動となり、自分自身で勉強スケジュール等を考える学生もいた。

### ■オンライン授業の学生理解を深め遠隔授業の質の向上

→メタバースを導入し、「一緒にいる」という新感覚のバーチャル空間をウェブ上に設営。オンラインでも学生通しの活発な意見交換を促すことを目的。座学のオンライン授業では質疑を増やし、学生通しのディスカッションやカウンセリング練習などを組み込み参加型授業へ改善。

### ■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

### ■モチベーション低下学生へのフォロー

→ホームルームの導入。朝の段階で欠席者を把握し、遅刻欠席が増加する初期の段階で面談を実施出来た。

職員と学生の信頼関係を深め、モチベーション低下学生への即日面談実施へ繋げる。

### ■就職難となった学生への支援をどのようにするか

→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。

また、就職室だけでなく全職員が分担をして学生対応する事で、就活で困窮している人へより密な対応を実施が出来た。

更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

9月8日(水) 第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。

3月29日(火) 第2回委員会でシラバス・授業内容の改善についての報告と企業連携科目の審議を実施する。



## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。

授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。

授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、カラーージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
ネイルケア	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強して参りましょう。	Nail it

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掘り込んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

###### カラーセラピスト講座

期間: 令和3年8月 対象: アロマセラピスト職員1名  
内容: 色彩知識、色彩心理、カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

###### AEA認定講師勉強会

期間: 令和3年8月 対象: エステティック職員1名  
内容: 検定技術試験時統一事項、実技試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### 化粧品検定

期間: 令和3年11月 対象: エステティック職員2名  
内容: 化粧品および美容の知識向上/美容皮膚科学/基礎知識/法律

###### AEA認定校勉強会

期間: 令和3年12月 対象: エステティック職員2名  
内容: 心理学から読み解く、リアル・リモート世代の育て方 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名  
内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

###### 学生の育て方

期間: 令和3年9月 対象: 職員1名  
内容: 教員力をあげるPSA診断とPSAコーチング/精神理学理論 株式会社ヒューマン・キャピタル・コンサルティング

###### LGBT研修

期間: 令和3年10月 対象: 職員1名  
内容: LGBTとは/セクシャルマイノリティの状況/課題に対する具体的な対応 株式会社 リカレント

###### 教育研修

期間: 令和4年3月 対象: 職員全体  
内容: 魂を揺さぶる本気教育/やる気を引き出す法則/指導上の課題解決 株式会社アビリティトレーニング代表取締役

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

エステティックグランプリ見学

期間: 令和4年6月 対象: エステティック職員2名

内容: エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

カラーセラピスト講座

期間: 令和4年8月 対象: エステティック職員1名

内容: 色彩知識/色彩心理/カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和4年8月 対象: エステ職員2名

内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

ダイエットビューティフェア見学

期間: 令和4年9月 対象: エステ職員2名

内容: 健康なダイエット方法、最新の食事 日本エステティック試験センター

特殊メイク・パフォーマンスメイク講習

期間: 令和4年10月 対象: メイク職員1名

内容: 作品や役柄、照明などを考え、ステージ映えるベースメイク作り 三善メークアップ研究所

ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和4年11月 対象: エステ、ネイル職員2名

内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

ネイル技術の勉強会

期間: 令和3年11月 対象: ネイル職員1名

内容: ネイルの高い技術力の見学、最先端のネイル&ビューティグッズの特性 NPO法人日本ネイリスト協会

エステティック認定講師勉強会

期間: 令和4年12月 対象: エステ職員3名

内容: 検定技術試験統一事項、技術試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人日本エステティック業協会

コスメコンシェルジュ認定プログラム養成講座

期間: 令和4年2月 対象: メイク職員2名

内容: 化粧品材料知識、活性酸素とフリーラジカル、教え方セミナー 日本化粧品検定協会

JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名

内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

Z世代を動かすコミュニケーション研修

期間: 令和4年6月 対象: 職員1名

内容: 学生募集への活用と在校生のカルチャー理解 株式会社リクルート専門学校営業部

リスクマネジメント研修

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名

内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間: 令和4年8月 対象: 職員2名

内容: 専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

体系的カリキュラム研修

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名

内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/開発学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年3月 対象: 職員8名

内容: 働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を得得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要項事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生満足度についてのご質問

→コロナ禍でのオンライン授業、対面短縮授業が長引いた為に学生へのフォローが行き届かなかった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
三森 歩	株式会社ボディアークホールディングス 取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校 校長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	高校関係

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和4年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 ブライダルビューティ専攻) 2022年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティIでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	2	○			○		○		
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1通・2前	60	4	○			○			○	
3	○			ビジネスマナー	社会の中で働くということとは何か、信頼を得るには何が大切なのか、社会人として身につけておくべきビジネスマナーの基本を実践的に習得します。更に、仕事をスムーズに行うためのコミュニケーションスキルを実践的に習得します。	1通	30	2	○			○			○	
4	○			フレッシュャーズスキル	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。	2通	30	2	○			○			○	
5	○			業界ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、コース選択にも役立つ。	1前	15	1	○			○			○	
6	○			就職ガイド	就職活動の早期化に伴い、1年前期より就職活動や試験内容に触れ意識の向上を図る。授業を通じて、自分を知り分析をし向き合う。	1通・2前	45	3	○			○			○	
7	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	4	○			○			○	
8	○			衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起こっても迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1前	15	1	○			○			○	





19	○		エステティック 実技理論	【理論】実技を行う上で必要な知識、禁忌事項、マナーなどを学びます。肌や身体 の分析の仕方や悩み別トリートメント対応・機器・自宅ケア・食事・生活 面のアドバイスなどを学びます。 【カウンセリング】カウンセリングの基礎や目的・肌トラブルの原因や分析方 法などを学びます。	1 後・ 2 前	30	2	○		○		○	○
20	○		エステティック ボディ実技	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」で す。エステティシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学 びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の対応、 掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。また、授業を通じて挨拶や 敬語ができ、笑顔で積極的にコミュニケーションが取れる人材育成をします。	1 前	45	3	○		○		○	○
21	○		エステティック フェイシャル実技	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」で す。エステティシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学 びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶の仕方、施術中の対応。サロン同 様、掃除などの業務全般も学んでいきます。AIE STEPSの“言われたことが出 来る人になる”を心がけて実技授業も学んでいきましょう。	1 前	60	4	○		○		○	○
22	○		エステティック実技	センター技術力確認試験フェイシャル実技試験合格を目標にした技術・知識・ アドバイス・分析力の習得。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、 専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目の基礎が求められます。	1 後・ 2 前	105	7	○		○		○	○
23	○		ネイルケア	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が 要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知 識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の 知識をしっかりと勉強して参りましょう。	1 通	105	7	○		○		○	○
24	○		ブライダルネイル	美容全般にはネイルの知識が必要です。 ウェディングにはウェディングネイルの知識が必要です。その為、ジェル検定 初級の知識を勉強していきます。幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知 識をしっかりと学び、必要なカウンセリング、チップ制作を目指し爪と指先の知 識をしっかりと取得していきます。	2 前	45	3	○		○		○	○
25	○		メイク& ヘアアレンジメント	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。 メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、 アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。 相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1 通・ 2 通	195	13	○		○		○	○
26	○		ブライダル概論	「挙式・披露宴」とはどのようなことをするのでしょうか。 こんな素朴な疑問を紐解きながら挙式披露宴の本質を理解し、未だ体験したこ とのない挙式・披露宴の流れとその意味を学び、ウェディングの本質と魅力を 考える授業です。 また、ブライダルの歴史を通して「結婚式」の変遷を考察し、現在のブライ ダル事情について学習していきます。	1 後・ 2 前	45	3	○		○		○	
27	○		ウェディング プロジェクト	挙式候補者の募集から挙式当日までの期間スケジュールに基づいて打ち合わせ の進め方、式に必要な部門との手配方法、お客様への案内方法を実践的に学 びます。当日のウェディングサロン運営を実践するための準備を進める授業で す。実践を通して現場力を養うことを目標としています。	2 通	90	6	○		○		○	



37	○	ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を直し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。 また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15	1	○	○	○											
38	○	ライフケアカラー検定対策	色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。ブライダル業界で求められるカラーコーディネート技術を、カラーワーク実習を通して身につけ、衣食住(空間)へと活かせる力を養います。 また、検定受験に向け、適宜問題集、小テスト(解説あり)を実施します。	1後	30	2	○	○	○	○										
39	○	パーソナルカラー検定対策	パーソナルカラー3級を取得目標とする授業です。似合う色の活用法や、診断ポイント、色彩の基本を学習します。メイクの仕事は店舗で働く際に、お客様にそれぞれに合った色選びや色の組み合わせなどのスキルを求められます。そういった場面でも役立つ基本知識を学びます。	2前	30	2	○	○	○	○										
40	○	ビューティプログラムリフレ	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。 長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1前	15	1	○	○	○	○										
41	○	ビューティプログラムブライダル	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1前	15	1	○	○	○	○										
42	○	ビューティプログラムカラー	美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこからまず自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいのかを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また、さまざまな配色方法を学ぶことでそれぞれの分野で活用出来る知識を身につける。	1前	15	1	○	○	○	○										
43	○	資格選択授業707検定	JAAアロマコーディネーター協会主催「アロマコーディネーターライセンス」資格取得に対応した授業を目標とします。「アロマコーディネーター」とは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ、豊かなライフスタイルを提案できる人を指します。32種類の精油について知識を深め、アロマセラピーに必要な基礎理論と企業で働く際にお客様に役立つ知識と日常生活で安全に活用できる手法を学びます。	2後	30	2	○	○	○	○										
44	○	資格選択授業メイク検定	JMA(メイク検定)2級合格に向けた授業です。 技術だけでなくお客様に対しての気遣いも学びます。	2後	30	2	○	○	○	○										
合計					44科目	1770	時間 ( 118 単位 )													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは資格選択授業を何れか一つを選択し、合計1740時間/116単位である。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
アイ エステティック 専門学校		平成27年3月17日		川島 真人		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																							
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																						
衛生	衛生専門課程		インナービューティ科 (ネイリスト)			平成29年文部科学大臣 認定	-																						
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																												
認定年月日	平成30年2月28日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	時間																					
2年	昼間	1740	390	1350	0	0	0																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
240	26人	0人	8人の内1人	41人の内31人	49人の内32人																								
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。																								
長期休み	■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月26日～1月5日 ■春季：3月21日～4月10日			卒業・進級 条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																								
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。			課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動：有																								
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等 (令和3年度卒業生) ピアンカ、エス・ライン、BSNジャパン、ラピス、ティアラグレイス ラレーヌ、ESその他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、 企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業生数 13 人 ■就職希望者数 13 人 ■就職者数 12 人 ■就職率 92.3 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 92.3 % ■その他 ・進学者数：0人 ・関係分野 (ネイル業界) への内定率92.3% (就職希望者) (令和 3 年度卒業者に関する 令和4年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定 等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネイリスト技能検定1級</td> <td>③</td> <td>13人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ジェルネイル技能検定上級</td> <td>③</td> <td>13人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>ネイルサロン衛生管理士</td> <td>③</td> <td>13人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>13人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他 (民間検定等) ■白中記述欄					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ネイリスト技能検定1級	③	13人	8人	ジェルネイル技能検定上級	③	13人	12人	ネイルサロン衛生管理士	③	13人	13人	パーソナルカラー検定3級	③	13人	13人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
ネイリスト技能検定1級	③	13人	8人																										
ジェルネイル技能検定上級	③	13人	12人																										
ネイルサロン衛生管理士	③	13人	13人																										
パーソナルカラー検定3級	③	13人	13人																										
中途退学 の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 令和3年4月1日時点において、在学者28名 (令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者28名 (令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携 (出席状況・成績通知)																												
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待生制度 (成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度 (一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																												
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無																												
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://aie-jhm.jp/aie/">https://aie-jhm.jp/aie/</a>																												

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

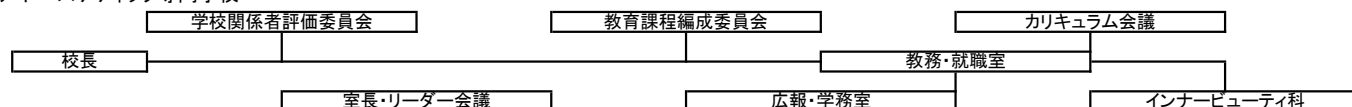
(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。

【学校組織図】

アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
萩原 直美	NPO法人日本ネイリスト協会理事 株式会社フューチャーネイル 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
中野 貴子	株式会社ティーケーアップ 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
木村 保司	日本アロマコーディネーター協会 顧問	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
柴山 佳之	株式会社日本ビューティコーポレーション 一般社団法人日本エステティック業協会教育委員会 委員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和3年度】第1回 令和3年9月8日 14:30～15:30 第2回 令和4年3月29日 14:30～15:30

【令和4年度】第1回 令和4年9月7日 14:40～予定 第2回 令和5年3月28日 14:40～予定

## (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

### ■化粧品検定対策授業の導入

→2年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。

### ■日本メイクアップ技術検定1級対策授業

→高い技術力を身に付け、悩みや要望に沿った対応力の向上を目指し取り組んでいる。プロフェッショナル意識を養い就職後の幅を広げる。

### ■ビューティビジネス実務検定の導入

→ビジネスコミュニケーションや美容業界の基礎知識を身に付け、サロンワークに必要なスキルを習得させることを目指し導入。

### ■選択授業の導入

→学生自身に授業を選択させる事でより勉強への取り組み意識が向上。検定日まで前向きな考え行動となり、自分自身で勉強スケジュール等を考える学生もいた。

### ■オンライン授業の学生理解を深め遠隔授業の質の向上

→メタバースを導入し、「一緒にいる」という新感覚のバーチャル空間をウェブ上に設営。オンラインでも学生通しの活発な意見交換を促すことを目的。座学のオンライン授業では質疑を増やし、学生通しのディスカッションやカウンセリング練習などを組み込み参加型授業へ改善。

### ■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

### ■モチベーション低下学生へのフォロー

→ホームルームの導入。朝の段階で欠席者を把握し、遅刻欠席が増加する初期の段階で面談を実施出来た。

職員と学生の信頼関係を深め、モチベーション低下学生への即日面談実施へ繋げる。

### ■就職難となった学生への支援をどのようにするか

→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。

また、就職室だけでなく全職員が分担をして学生対応する事で、就活で困窮している人へより密な対応を実施が出来た。

更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

9月8日(水) 第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。

3月29日(火) 第2回委員会でシラバス・授業内容の改善についての報告と企業連携科目の審議を実施する。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。

授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。

授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、カラーージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
ネイルケア	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強して参りましょう。	Nail it



### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掘んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

###### カラーセラピスト講座

期間: 令和3年8月 対象: アロマセラピスト職員1名

内容: 色彩知識、色彩心理、カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

###### AEA認定講師勉強会

期間: 令和3年8月 対象: エステティック職員1名

内容: 検定技術試験時統一事項、実技試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### 化粧品検定

期間: 令和3年11月 対象: エステティック職員2名

内容: 化粧品および美容の知識向上/美容皮膚科学/基礎知識/法律

###### AEA認定校勉強会

期間: 令和3年12月 対象: エステティック職員2名

内容: 心理学から読み解く、リアル・リモート世代の育て方 一般社団法人 日本エステティック業協会

###### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名

内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

###### 学生の育て方

期間: 令和3年9月 対象: 職員1名

内容: 教員力をあげるPSA診断とPSAコーチング/精神心理学理論 株式会社ヒューマン・キャピタル・コンサルティング

###### LGBT研修

期間: 令和3年10月 対象: 職員1名

内容: LGBTとは/セクシャルマイノリティの状況/課題に対する具体的な対応 株式会社 リカレント

###### 教育研修

期間: 令和4年3月 対象: 職員全体

内容: 魂を揺さぶる本気教育/やる気を引き出す法則/指導上の課題解決 株式会社アビリティトレーニング代表取締役

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

##### エステティックグランプリ見学

期間: 令和4年6月 対象: エステティック職員2名  
内容: エステティック技術見学/サロン運営 エステティックグランプリ事務局

##### カラーセラピスト講座

期間: 令和4年8月 対象: エステティック職員1名  
内容: 色彩知識/色彩心理/カウンセリングテクニック エイチスペース株式会社

##### エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和4年8月 対象: エステ職員2名  
内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP/AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

##### ダイエットビューティフェア見学

期間: 令和4年9月 対象: エステ職員2名  
内容: 健康なダイエット方法、最新の食事 日本エステティック試験センター

##### 特殊メイク・パフォーマンスメイク講習

期間: 令和4年10月 対象: メイク職員1名  
内容: 作品や役柄、照明などを考え、ステージ映えするベースメイク作り 三善メイクアップ研究所

##### ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和4年11月 対象: エステ、ネイル職員2名  
内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

##### ネイル技術の勉強会

期間: 令和3年11月 対象: ネイル職員1名  
内容: ネイルの高い技術力の見学、最先端のネイル&ビューティグッズの特性 NPO法人日本ネイリスト協会

##### エステティック認定講師勉強会

期間: 令和4年12月 対象: エステ職員3名  
内容: 検定技術試験統一事項、技術試験変更点、学校教育と企業教育 一般社団法人日本エステティック業協会

##### コスメコンシェルジュ認定プログラム養成講座

期間: 令和4年2月 対象: メイク職員2名  
内容: 化粧品材料知識、活性酸素とフリーラジカル、教え方セミナー 日本化粧品検定協会

##### JBCA認定教員研修会

期間: 令和4年2月 対象: エステティック職員1名・メイク職員1名  
内容: JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

##### Z世代を動かすコミュニケーション研修

期間: 令和4年6月 対象: 職員1名  
内容: 学生募集への活用と在校生のカルチャー理解 株式会社リクルート専門学校営業部

##### リスクマネジメント研修

期間: 令和4年7月 対象: 職員1名  
内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

##### 新任職員研修

期間: 令和4年8月 対象: 職員2名  
内容: 専修学校における職業教育/専修学校のあり方と授業実践/学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

##### 体系的カリキュラム研修

期間: 令和4年9月 対象: 職員1名  
内容: 分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/開発学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

##### ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年3月 対象: 職員8名  
内容: 働く女性のためのカラダケア/ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を得得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生満足度についてのご質問

→コロナ禍でのオンライン授業、対面短縮授業が長引いた為に学生へのフォローが行き届かなかった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
三森 歩	株式会社ボディアークホールディングス 取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校 校長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	高校関係

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和4年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は明確になっているか</li> <li>・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか</li> <li>・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> </ul>
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか</li> <li>・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか</li> <li>・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか</li> <li>・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか</li> <li>・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか</li> <li>・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・入学者に対する卒業率はどうか</li> <li>・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか</li> <li>・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか</li> <li>・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか</li> <li>・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか</li> </ul>

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援体制は整備されているか</li> <li>・保護者との連携は適切か</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> <li>・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか</li> <li>・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか</li> <li>・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか</li> <li>・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか</li> <li>・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか</li> <li>・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学納金は妥当か</li> <li>・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報の公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> <li>・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか</li> <li>・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか</li> <li>・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<p>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</p>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか</li> <li>・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 ネイリスト専攻) 2022年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティIでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	2	○			○		○		
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1通・2前	60	4	○			○			○	
3	○			ビジネスマナー	社会の中で働くということとは何か、信頼を得るには何が大切なのか、社会人として身につけておくべきビジネスマナーの基本を実践的に習得します。更に、仕事をスムーズに行うためのコミュニケーションスキルを実践的に習得します。	1通	30	2	○			○			○	
4	○			フレッシュャーズスキル	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。	2通	30	2	○			○			○	
5	○			業界ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、コース選択にも役立つ。	1前	15	1	○			○			○	
6	○			就職ガイド	就職活動の早期化に伴い、1年前期より就職活動や試験内容に触れ意識の向上を図る。授業を通じて、自分を知り分析をし向き合う。	1前	45	3	○			○			○	
7	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	4	○			○			○	
8	○			衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起こっても迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1通	15	1	○			○			○	







29	○	ビューティプログラム リフレ	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。 長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1 前	15	1	○	○	○	○
30	○	ビューティプログラム ブライダル	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1 前	15	1	○	○	○	○
31	○	ビューティプログラム カラー	美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこからまず自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいのかを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また、さまざまな配色方法を学ぶことでそれぞれの分野で活用出来る知識を身につける。	1 前	15	1	○	○	○	○
32	○	資格選択授業 メイク検定	JMA（メイク検定）3級合格に向けた授業です。 技術だけでなくお客様に対しての気遣いも学びます。	1 後	30	2	○	○	○	○
33	○	資格選択授業 アロマ検定	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また日常生活で安全に活用できる実践的な方法を学びます。2021年月2月実施JAA日本アロマコーディネーター協会「アロマコーディネーター」試験内容に準じた授業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。（精油テキストにある31種類の精油の説明については各授業で全て行い、身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きも学びます。	1 後	30	2	○	○	○	○
合計				33科目	1770	時間	(	118	単位)	

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1. 【卒業】 卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは資格選択授業を何れか一つを選択し、合計1740時間/116単位である。 【進級】 1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位数全て取得。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。